

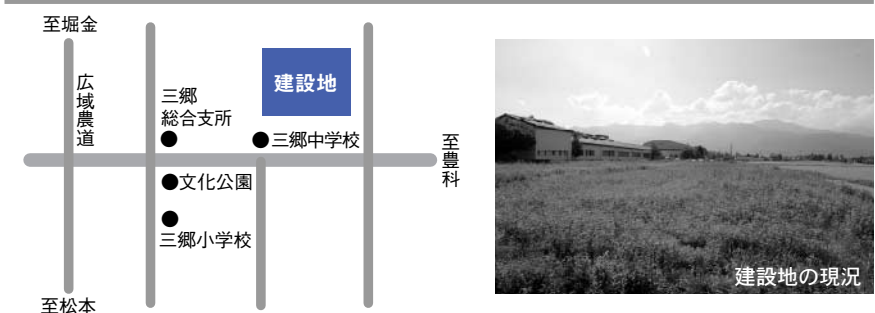
建物の概要

- 計画地 安曇野市三郷1928
(三郷中学校北側)
- 敷地面積 4,377㎡
- 建物構造
【児童館】鉄骨造(平屋建)
【交流学习センター】鉄骨鉄筋コンクリート造(地上2階建)
- 延床面積
【児童館】825.80㎡、
【交流学习センター】2,100.30㎡
- 建設費(概算)
【児童館】2億5,800万円
【交流学习センター】7億4,800万円
- 主な施設
【児童館】育児室、創作活動室、児童クラブ室、集会室、プレイルーム、図書室
【交流学习センター】
 - ◎図書館(分館)812㎡
(開架5万冊、閉架5千冊)
 - ◎学習室 92㎡
 - ◎多目的交流ホール 200席
(展示室使用も可能231㎡)
 - ◎ボランティアルーム 27㎡
 - ◎デジタル編集室 43㎡
 - ◎音楽スタジオ 41㎡



完成予想図

三郷交流学习センター



完成予想図

豊科交流学习センター



建物の概要

- 計画地 安曇野市豊科5606-3、
5668-4(豊科近代美術館敷地内)
- 敷地面積 3万3,467㎡
- 建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造+
一部鉄筋コンクリート造(地上2階建)
- 延床面積 3,207.58㎡
- 建設費(概算) 12億1,800万円
- 主な施設
 - ◎市民ギャラリー 369㎡
 - ◎学習室兼アトリエ 3部屋
 - ◎図書館(分館) 956㎡
(開架6万冊、閉架6,000冊)
 - ◎ボランティア室 40㎡
 - ◎福祉コーナー 35㎡
 - ◎多目的交流ホール 198席
(展示室使用も可能243㎡)
 - ◎収蔵庫
 - ◎多目的ラウンジ

施設を建てるのに どれくらい掛かるの？

3つの交流学习センターを建てるために約47億4,800万円掛かる予定です。これは、旧町村からの実施済事業費も含めた総額となっています。この費用の財源内訳は下表のとおりです。「まちづくり交付金」は国からの交付金で穂高と豊科が該当。「基金」については、旧町村でこの施設を建てるために積み立てられたお金です。「合併特例債」については、国から借り入れることができる地方債で、事業費の95%まで借りられ、返済額の約70%が交付税算入されます。

予定事業費の財源内訳	
まちづくり交付金	10億3,900万円
基金	11億0,600万円
合併特例債	25億3,900万円
一般財源	6,400万円
合計	47億4,800万円

今後のスケジュールについて

市では、交流学习センターを順次整備していく予定です。3施設の完成までのスケジュール(現時点)については、本年度、三郷地域の「児童館」を着手、そして、穂高地域の建設工事も着手する予定です。その後、豊科地域は平成20年度、三郷地域の「交流学习センター」は平成22年度に着手する予定です。

今後は、基本構想図で示されたプランを基に、より細部(柱の大きさや壁の素材、コンセントの位置など)に至るまでの図面を作る実施設計を行っていきます。

また、市内で生涯学習活動など

を行っている団体やボランティアグループなどとの連携・協力体制の確立、国立・県立図書館、大学・高校などとの連携にも取り組んでいきます。

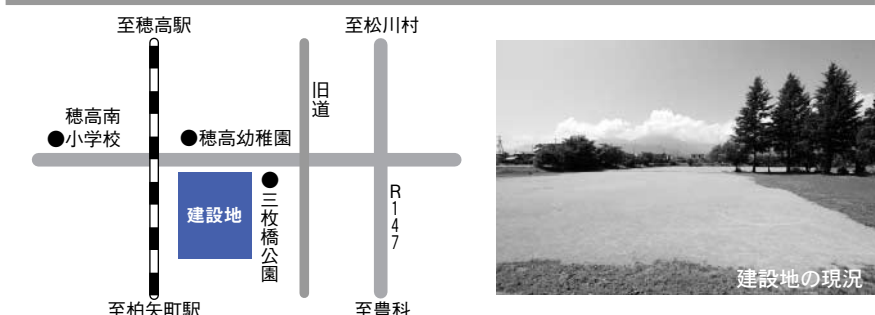
市では、多くの市民が気軽に訪れ、居心地の良さややすらぎを実感できる運営の体制を模索していますが、市民の皆さんの率直なご提案もお聞きしたいと考えています。今後、そのような機会も計画していきますが、電話などでも結構ですので、遠慮なく担当窓口へお申し出ください。

☎ 教育委員会社会教育課交流学习センター係
(TEL 62・4565 FAX 62・3525)



完成予想図

穂高交流学习センター



建物の概要

- 計画地 安曇野市穂高6765-1、
6765-2
- 敷地面積 1万4,551㎡
- 建物構造 鉄骨造
(一部2階建)
- 延床面積 4,100.05㎡
- 建設費(概算) 16億3,300万円
- 主な施設
 - ◎中央図書館 1,761㎡
(開架15万冊、閉架15万冊)
 - ◎展示ギャラリー 132㎡
 - ◎交流ギャラリー 262㎡
 - ◎多目的交流ホール 200席
 - ◎学習室1・2 120㎡
 - ◎グループ研究・活動室 52㎡
 - ◎倉庫 225㎡
 - ◎多目的ラウンジ

それぞれの基本構想図は、市ホームページ、教育委員会社会教育課・各教育課窓口、各図書館に備えてありますのでご覧ください。